

電子情報 通信学会

「音の不思議」など体験

科学教室 児童ら35人が参加

電子情報通信学会主催の「不思議がいっぱい科学の世界」が12日、宮古総合実業高校商業棟3階情報処理実習室で行われ、親子35人がパソコンを使って音の不思議、インターネット通信、画像処理を体験した。

同学会は、科学離れが進むなか「科学の面白さを伝えたい」などと全国で科学教室を実施している。沖縄県では昨年八重山に続き、



科学教室で「音の不思議体験」をする親子ら＝12日、宮古総合実業高校

今年宮古での開催となった。宮古島市教育委員会の後援を得て多良間村を含めた各小・中学校に呼びかけ、参加する親子を募った。

午後1時から行われた教室では、「音の不思議を体験してみよう」(講師・伊藤良生鳥取大学教授、笹岡直人鳥取大学助教)、「イン

ターネット通信を体験してみよう」(同・尾知博九州工業大学教授、黒崎正行九州工業大学准教授)、「画像処理を体験してみよう」(同・尾上孝雄大阪大学教授)が行われた。

このうち音の不思議を体験してみようでは、伊東教授らがいろいろな音や音の重要性、媒質が音を伝える、音の高低と周波数、生物ごとに異なる可聴範囲などを紹介。声を遠くまで伝えるには「電気信号にすると便利。デジタルの処理で大きくしたり、必要な情報だけ

ロケ地視察で表敬

NHK大阪放送局長ら

NHK大阪放送局の崎元利樹局長が13日、市役所平良庁舎に下地敏彦市長を表敬訪問した。プロ野球オリックス・バファローズの春季キャンプと、同放送局が今年10月から放映する連続テレビ小説「純と愛」のロケ地の視察のため宮古入りした。

表敬には崎元局長、同放送局報道部の古橋明尊スポ

ーツ専任部長が参加。下地市長、奥原一秀観光商工局長、宮古島観光協会の豊見

山健児会長が応対した。この中で崎元局長は、「大阪局としても朝のドラマが調子いいと、元氣いい。ぜひ大ヒットするドラマになってほしい」と述べた。下地市長は「脚本家もよくおもしろいものができる

カワツザクラ170本 久貝公園に植樹

昭和28会

昭和28会(与那覇功代表)が12日、久貝公園にカワツザクラの苗木170本を植



カワツザクラを
久貝公園に
12日、久

工建(仲間正人代表)が提供し、参加者らが公園内の各所に穴を掘り、カワツザクラを植えていた。

与那覇代表は「私たちも来年は還暦を迎える。還暦ではこのカワツザクラの下で花見をして還暦を仲間とともに祝いたい」と話していた。